ホームページ掲載版

私立大学新入生の家計負担調査
２０１１年度

2011年度調査のエッセンスより

○「受験から入学までの費用」は212万円（自宅外通学者）

○「入学の年にかかる費用」は298万円（自宅外通学者）

～年収の３分の１を占め家計の大きな負担に

○月平均の仕送り額は９万1300円で過去最低額を今年も更新

家賃を除いた１日の生活費はわずか1010円

○９割を超える家庭が入学費用を「重い」と感じている

※このファイルは、冊子から一部抜粋したものです。『調査結果』全文の冊子は実費「80円切手×13枚」（1,040円）で頒布します。申し込みは東京私大教連へメール（tsk@tfpu.or.jp）、電話（03-3208-8071）、FAX（03-3208-0430）でお寄せ下さい。

東京私大教連

2011年度　私立大学新入生の家計負担調査

目　次

「私立大学新入生の家計負担調査」について

Ⅰ　調査の目的・経過・特徴 …… 2
Ⅱ　今回の調査の実施状況（調査方法・時期・回収数、調査の対象） …… 3
Ⅲ　東京私大教連について（組織名・英文名、連絡先、ホームページ、組織概況） …… 3

第１章　2011年度調査のエッセンス

１　「受験から入学までの費用」は212万円（自宅外通学者） …… 4
２　「入学の年にかかる費用」は298万円（自宅外通学者）
　～年収の３分の１を占め家計の大きな負担に …… 6
３　月平均の仕送り額は９万1300円で過去最低額を今年も更新
　家賃を除いた１日の生活費はわずか1010円月平均 …… 8
４　新入生の３分の２が奨学金を希望
　希望者のうち実際の申請者も65％で過去最高 …… 10
５　２割の家庭が入学費用を「借入れ」(平均借入額164万円)
　９割を超える家庭が入学費用を「重い」と感じている …… 12

第２章　「2011年度の家計負担調査」結果

Ⅰ　基本データの構成 …… 14
Ⅱ　家庭の状況と世帯の税込年収 …… 17
　Ａ 家庭の状況　Ｂ 世帯の税込年収　Ｃ 教育費のかかる子どもの数
Ⅲ　受験時の支出 …… 21
　Ａ 受験費用　Ｂ 受験回数　Ｃ 入学校以外の大学への支払い
Ⅳ　入学時の住居費 …… 25
Ⅴ　毎月の仕送り額 …… 27
Ⅵ　受験から入学までの費用 …… 29
Ⅶ　「入学の年にかかる費用」と「税込年収に占める割合」 …… 31
Ⅷ　「入学費用の調達」と「借入れ額」 …… 33
　Ａ 学費などの「入学に必要な費用」の調達　Ｂ 入学費用の借入れ額
Ⅸ　「受験から入学までの費用」の負担感 …… 36
Ⅹ　奨学金について〈希望、希望者の申請状況〉 …… 38
Ⅺ　授業料への直接助成制度 …… 40

「私立大学新入生の家計負担調査」について

Ⅰ．調査の目的・経過・特徴

１．調査の目的

私立大学の問題を考える重要なデータとして、首都圏の私立大学に入学した新入生の家計負担の状況について明らかにすることを目的とした調査である。

２．調査の経過

１．最初の調査は1983年度で、「私立大学生の家庭」を対象として実施された。

２．1985年度から調査の対象を「新入生の家庭」に限定した。今回の2011年度調査は、対象を新入生の家庭にしぼってから27回目となる。調査の結果は、1985年度から公表している。

３．これまでの調査を通じ、少しずつ調査票の設問を改善してきている。

３．本調査の特徴

本調査は下記に紹介する調査とちがい、次の点に特徴がある。

１．私立大学の新入生を対象とした調査であること。

２．家計負担の状況を保護者（父母）の側から明らかにしていること。

参　考

よく知られている教育費調査に次のものがある。大学を対象とした調査は①と②だが、いずれも国公立大学を含むもので、回答者は主として大学生・大学院生である。

① 「学生生活調査」　（日本学生支援機構、隔年調査、対象は国公私立の大学生と大学院生）

② 「学生の消費生活に関する実態調査」
（全国大学生活協同組合連合会、毎年調査、対象は国公私立の大学生と一部父母）

③ 「子どもの学習費調査」
（文部科学省、隔年調査、対象は公立の小・中学生、公私立の高校生の保護者）

④ ほかに総務省の「家計調査」、厚生労働省の「国民生活実態調査」などがある。

Ⅱ．今回の調査の実施状況

１．方法・時期・回収数

１．依頼・回収とも郵送により、2011年５月～７月にかけて実施した。

２．調査票は「私立大学新入生の家計負担についてのアンケート」を使用し、5,514件を回収した。有効回答は5,496件で99.7%であった。

２．調査の対象

１．2011年度に私立大学（短期大学を含む）に入学した新入生の家庭（保護者・父母）を対象とした。

２．対象となった大学は、１都５県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木）にある下記の18大学・短大である。

東　京（１１校）	工学院大学	中央大学	東京経済大学
	東京家政学院大学	日本大学	日本大学短期大学部
	武蔵野美術大学	明治大学	明治薬科大学
	和光大学	早稲田大学	
神奈川（１校）	麻布大学		
埼　玉（１校）	獨協大学		
千　葉（２校）	国際武道大学	東邦大学	
茨　城（１校）	筑波学院大学		
栃　木（２校）	作新学院大学	作新学院大学女子短期大学部	

Ⅲ．東京私大教連について

１．組　織　名　東京私大教連（トウキョウシダイキョウレン）　（フルネーム＝東京地区私立大学教職員組合連合）

２．英　文　名　Tokyo Federation of Private University Faculty and Staff Unions

３．連　絡　先　〒169-0075　東京都新宿区高田馬場2-5-23　第１桂城ビル３階

TEL 03(3208)8071　　FAX 03(3208)0430

E-Mail　tsk@tfpu.or.jp

４．ホームページ　http://www.tfpu.or.jp

５．組織概況

１．１都９県（東京、千葉、埼玉、神奈川、群馬、茨城、栃木、山梨、長野、新潟）の短期大学を含む私立大学の教職員組合で構成する連合体。上部団体は日本私大教連（日本私立大学教職員組合連合）。

２．加盟組合数は2012年４月現在、67組合（60大学・16短大）、組織人員は約１万人。

第１章

2011年度調査のエッセンス

1 「受験から入学までの費用」は212万円（自宅外通学者）

・(　)内は対前年度との比較

1．「受験から入学までの費用」は、自宅外通学者が212万4051円で前年度比１万315円（-0.5%）減額、自宅通学者が151万8451円で前年度比3115円（-0.2%）減額した（表１）。
2．「受験から入学までの費用」の内訳では、自宅外通学者で「受験費用」が増額し、「家賃」「敷金・礼金」「生活用品費」「初年度納付金」が減額した（表１、図１）。
3．「受験から入学までの費用」に占める初年度納付金の構成比率は、自宅外通学者で61.9%、自宅通学者で86.6%と高い割合を占めている（表２）。

表１　受験から入学までの費用（住居別）

費用の内訳	自宅外通学			自宅通学		
	額	前年度増減額	同増減率	額	前年度増減額	同増減率
受験費用	248,600円	9,200円	3.8%	204,200円	-1,700円	-0.8%
家賃	61,000	-100	-0.2			
敷金・礼金	205,500	-10,300	-4.8			
生活用品費	294,700	-7,700	-2.5			
初年度納付金(＊)	1,314,251	-1,415	-0.1	1,314,251	-1,415	-0.1
合計	2,124,051	-10,315	-0.5	1,518,451	-3,115	-0.2

・初年度納付金は文部科学省「平成23年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額（定員１人当たり）」による。
・初年度納付金のうち、授業料は年２回（前期と後期）に分けて大学に納付することになっている。

図１　費目別の対前年度増減額（自宅外通学者）

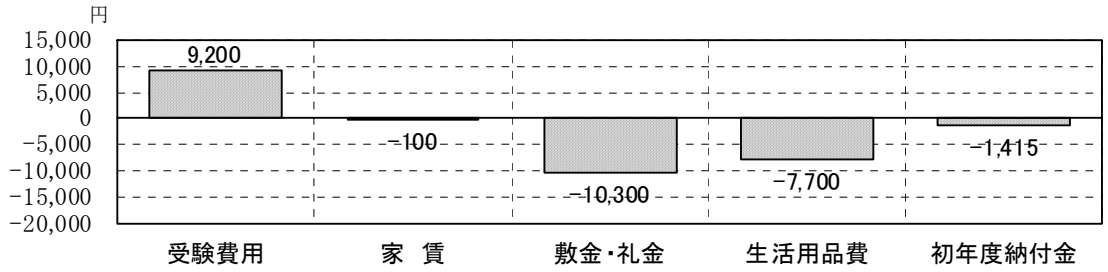


表２　「受験から入学までの費用」の推移と各費目の構成比

（自宅外通学者）

年　度	受 験 費 用		私大初年度納付金		入学時の住居費		合　　計	
	額	構成比	額	構成比	額	構成比	額	増減率
	円	%	円	%	円	%	円	%
09	237,600	11.1	1,312,146	61.6	580,100	27.3	2,129,846	-1.1
10	239,400	11.2	1,315,666	61.6	579,300	27.2	2,134,366	0.2
11	248,600	11.7	1,314,251	61.9	561,200	26.4	2,124,051	-0.5

＊初年度納付金は、文部科学省が発表する各年度の平均額（定員１人当たり）による。

（自宅通学者）

年　度	受 験 費 用		私大初年度納付金		合　　計	
	額	構成比	額	構成比	額	増減率
	円	%	円	%	円	%
09	191,500	12.7	1.312,146	87.3	1,503,646	0.2
10	205,900	13.5	1,315,666	86.5	1,521,566	1.3
11	204,200	13.4	1,314,251	86.6	1,518,451	-0.3

＊初年度納付金は、文部科学省が発表する各年度の平均額（定員１人当たり）による。

2 「入学の年にかかる費用」は298万円（自宅外通学者）
～年収の３分の１を占め家計の大きな負担に

・(　)内は対前年度との比較

自宅外通学者の「入学の年にかかる費用」は「税込収入」の33.2%を占める

1．自宅外通学者の「入学の年にかかる費用」は298万3351円で、前年と比べ9415円（-0.1%）減額した。
　父母・学生の裁量でいちばん出費をおさえることができる「仕送り額(4月～12月)」は、85万9300円(+900円)で前年度より僅かに増額した（表３、図２）。

2．自宅外通学者世帯の「税込収入に占める『入学の年にかかる費用』」の割合は33.2%で、年収899万6000円の３分の１を占め、家計負担の大きさを示している（図３）。

世帯の平均年収は895万8000円、６割以上の家庭が共働きで収入を得る

3．世帯の「税込年収」は、全体平均が895万8000円（+1.2%）となり、３年連続で900万円を割り込んだ（図４）。
　なお、世帯の有所得者数の平均は1.7人である。共働きなど有所得者数が２人以上の世帯は全体の64.3%である。

4．世帯の「税込年収」を住居別でみると、自宅外通学者の世帯で899万6000円(+2.2%)、自宅通学者の世帯で892万8000円(+0.3%)で、ともに増額した。（表５）。
　*「有所得者数」とは、世帯で所得のある者の合計人数であり、その人数で上記の年収を得ている。

表３　自宅外通学者の「入学の年にかかる費用」

	受験費用	住居費	私大初年度納付金	仕送り額(4月～12月)	合計	前年度比
平均	248,600円	561,200円	1,314,251円	859,300円	2,983,351円	-0.1%
増減額	9,200	-18,100	-1,415	900	-9,415	

・初年度納付金は文部科学省「平成23年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額（定員１人当たり）」による。

図２　入学の年にかかる費用（自宅外通学者）

受験から私立大学入学までの費用 212万4051円 ＋ 仕送り額 (4月～12月) 85万9300円 ＝ 入学の年にかかる費用 298万3351円

・「仕送り額」の４～５月分は「５月の仕送り額」（11万100円）を、
　６～12月分は「６月以降(月平均)」の仕送り額（９万1300円）をもとに算出。

図３　税込年収に占める「入学の年にかかる費用」の割合（自宅外通学者）

入学の年にかかる費用 298万3351円 ／ 平均税込年収（自宅外） 899万6000円 ＝ 税込年収に占める割合 33.2%

表４　「入学の年にかかる費用」の推移（住居別）

住居別	2005年度	06	07	08	09	10	11
自　宅　外	3,101,156円	3,072,420円	3,021,926円	3,046,761円	3,001,161円	2,992,766円	2,983,351円
（増減比）	0.5%	-0.9%	-1.6%	0.8%	-1.5%	-0.3%	-0.1%
自　　宅	1,490,456円	1,491,220円	1,489,726円	1,500,361円	1,500,561円	1,521,046円	1,518,451円
（増減比）	0.9%	0.1%	-0.1%	0.7%	0.0%	1.0%	-0.1%

・自宅通学者については、毎月の生活費や小遣いなどを調査していないため「受験から入学までの費用」をそのまま使用している。

図４　「世帯の税込年収」の推移（全体平均）　～2009年度から３年連続で900万円を割り込む

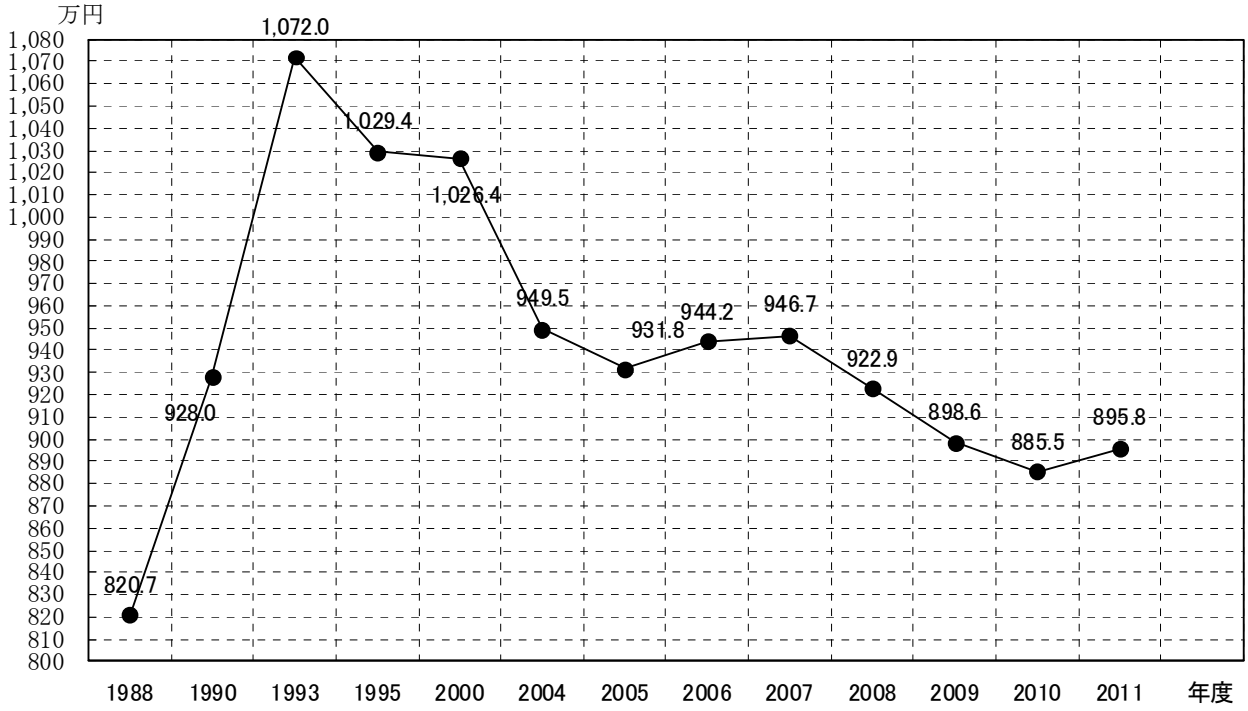


表５　「税込年収」と「対前年度増減比」の推移（全体／住居別）

全体・住居別		2003年度	04	05	06	07	08	09	10	11
全　体	年　収	992.9万円	949.5万円	931.8万円	944.2万円	946.7万円	922.9万円	898.6万円	885.5万円	895.8万円
	増減比	0.5%	-4.4%	-1.9%	1.3%	0.3%	-2.5%	-2.6%	-1.5%	1.2%
自宅外	年　収	1000.1万円	949.1万円	967.4万円	947.2万円	960.9万円	915.9万円	882.1万円	880.3万円	899.6万円
	増減比	1.9%	-5.1%	1.9%	-2.1%	1.4%	-4.7%	-3.7%	-0.2%	2.2%
自　宅	年　収	988万円	949.3万円	901.0万円	941.9万円	934.3万円	929.8万円	911.5万円	889.8万円	892.8万円
	増減比	-0.7%	-3.9%	-5.1%	4.5%	-0.8%	-0.5%	-2.0%	-2.4%	0.3%

3 月平均の仕送り額は９万1300円で過去最低額を今年も更新 家賃を除いた１日の生活費はわずか1010円

1．「仕送り額」の平均は、入学直後の新生活や教材の準備で費用がかさむ「５月」が11万100円で1500円増額、出費が落ちつく「６月以降（月平均）」が９万1300円で300円減額した。「６月以降（月平均）」の仕送り額は、前年の９万1600円をさらに下回り過去最低額となった（表６、図５）。

「６月以降（月平均）」の仕送り額を過去最高だった1994年の12万4900円と比較すると、ピーク時より３万3600円減額し、16年間に４分の１が減少した（図５）。

2．「家賃」の平均は６万1000円となり前年比で100円減額した。「６月以降（月平均）」の仕送り額９万1300円に占める「家賃」の割合は66.8%となり、1986年度のデータ以来、過去最高となった（表７、図６）。

3．「６月以降（月平均）」の仕送り額から「家賃」をのぞいた生活費は３万300円で、一日あたりの生活費として算出すると、1010円（３万300円÷30日）になる。2011年度の一日あたりの生活費は、ピークである1990年度の2460円(７万3800円÷30日)に比べると、41.1%である（図７）。

不足する生活費や学業の経費は、アルバイト等の収入でおぎなっていると思われる。

表６　「５月の仕送り額」の推移

1986年度	90	95	2000	05	07	08	09	10	11
円 112,400	円 133,900	円 151,200	円 145,100	円 124,100	円 115,900	円 113,700	円 111,000	円 108,600	円 110,100

図５　「６月以降の仕送り額（月平均）」の推移

～　ピークは1994年の124,900円、2011年は91,300円で過去最低額

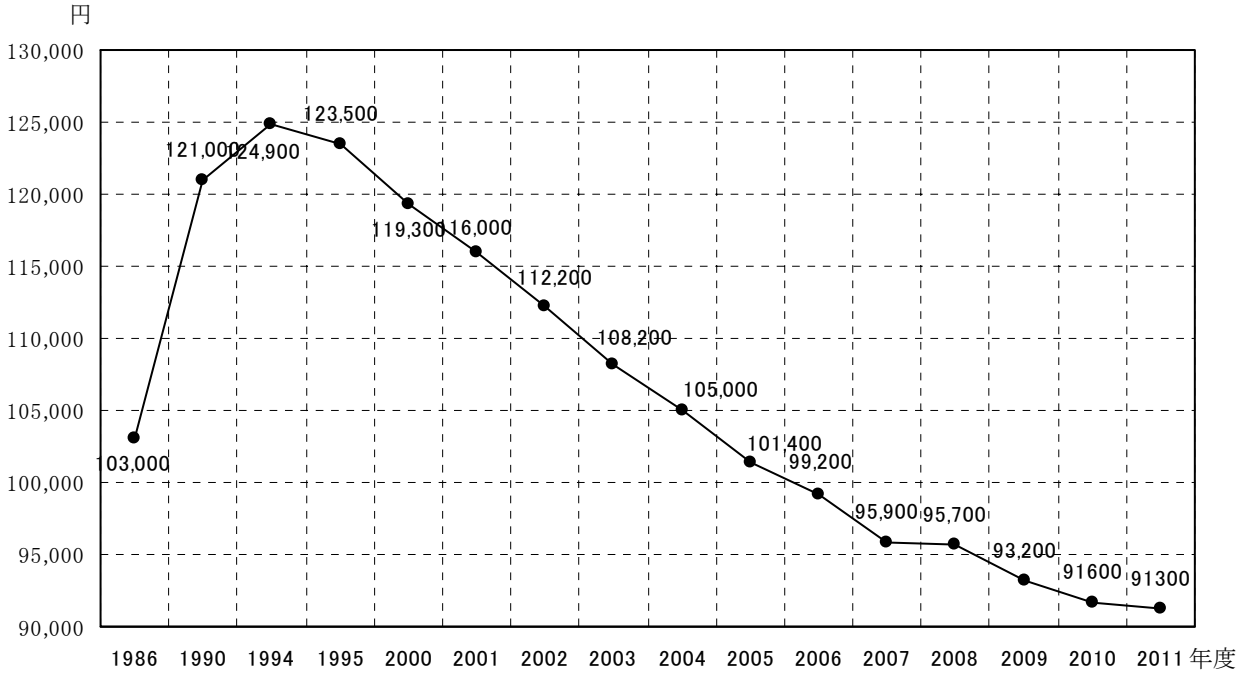


表７　「毎月の家賃」の推移

1986年度	90	95	2000	05	07	08	09	10	11
円 34,700	円 48,300	円 55,300	円 59,600	円 58,700	円 59,200	円 59,700	円 59,500	円 61,100	円 61,000

図６　「６月以降の仕送り額（月平均）」に占める「家賃の割合」の推移

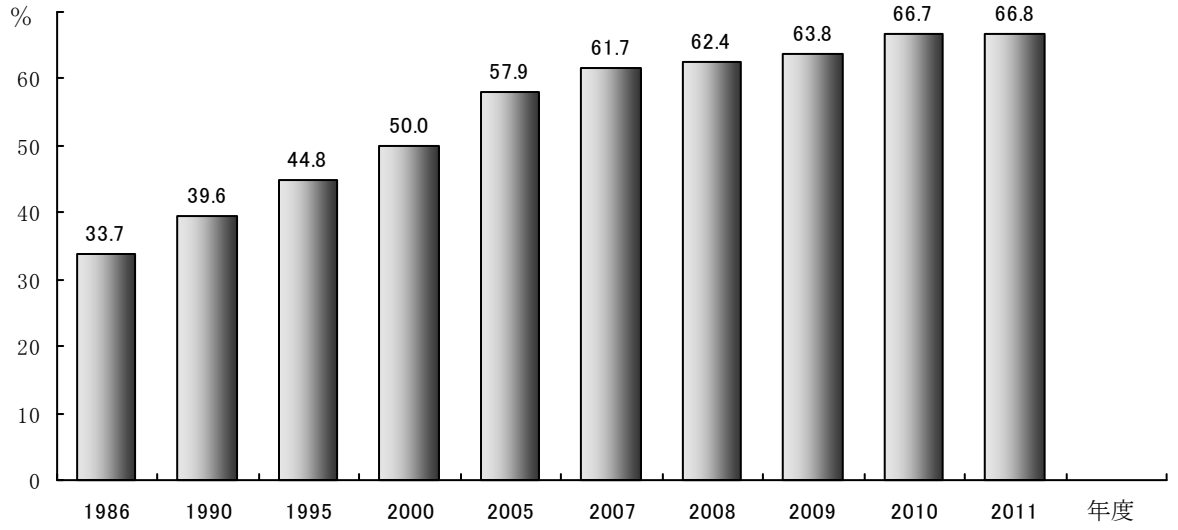
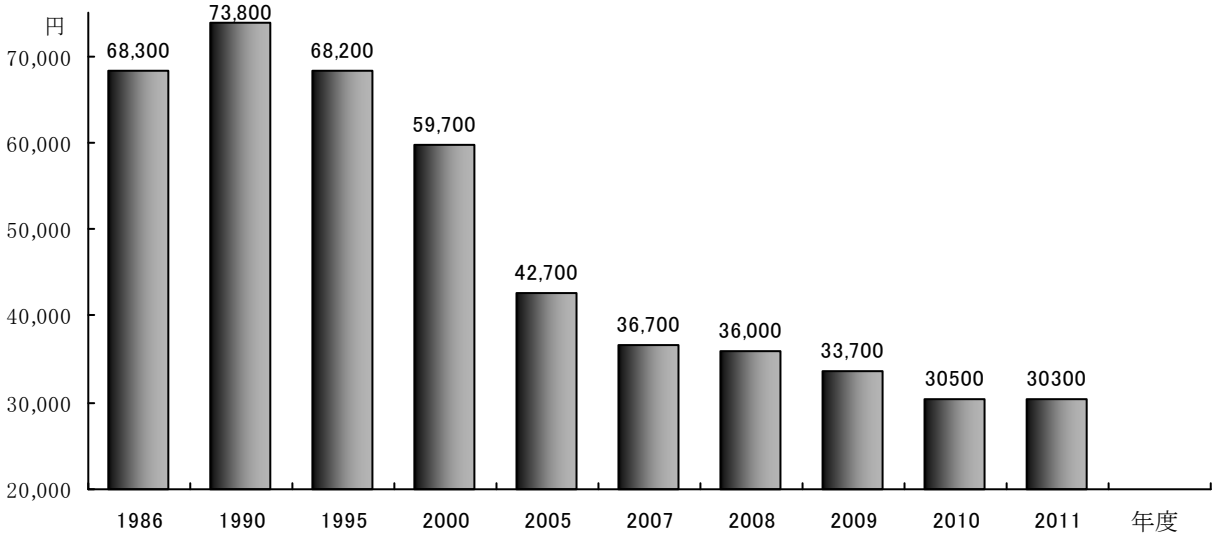


図７　「６月以降の仕送り額（月平均）」から「家賃」を除いた生活費の推移 ～ピークは1990年の７万3800円



※2011年度の１日あたりの生活費は、1,010円（３万300円÷30日）である

（最高時となる1990年度の１日あたりの生活費は2,460円）

4 新入生の３分の２が奨学金を希望
希望者のうち実際の申請者も65%で過去最高

１．日本学生支援機構（旧日本育英会）を含む奨学金は、「希望する」と希望者のうち「申請した」が全体平均でともに６割を超えた。希望者で奨学金を「申請した」は、調査開始以来、過去最高になった。住居別では、「自宅外通学者」で「希望する」と「申請した」が、７割を超えている（表８）。年収が低いほど「申請した」が高くなる傾向にある(表９)。

＊「希望する」は1992年度から、「申請した」は1985年度から調査を実施

２．日本学生支援機構がまとめた奨学金受給率合計は35.9%（2010年度実績）である。その内訳は私立大学生で34.6%であり、国公立大学生の40.5%と比べても低い。先進国のなかで給付型奨学金がないのは日本だけである。

３．私立大学の授業料に対する国からの「直接助成制度（＊)」を「必要する」との回答は全体で85.3%であり、新入生家庭の８割以上がこの制度を待ち望んでいる（図８・表10)。

＊直接助成制度…国が家庭に直接交付する返済の必要のない私立大学授業料への補助制度。
現在、この制度はない。
＊全国の自治体では私立高校生への授業料補助が行われている。
＊国は2010年度から公立高校生の授業料無償化及び私立高校生への高等学校等就学支援金を創設した。

表８　「奨学金の希望」と「希望者の申請状況」の推移（全体／住居別）

年度	奨学金を「希望する」			希望者で奨学金を「申請した」		
	全　体	自宅外	自　宅	全　体	自宅外	自　宅
	%	%	%	%	%	%
1985	―			25.4	33.2	15.4
90	―			32.0	41.9	21.1
92	56.4	（「希望する」の調査開始）		48.8	58.3	35.7
95	57.8	64.9	50.8	40.1	49.5	28.3
2000	61.9	68.1	55.2	48.7	56.1	38.6
05	59.4	66.7	52.9	54.2	60.3	47.2
07	63.2	69.0	57.6	62.0	68.6	54.2
08	64.0	71.0	58.0	62.9	73.6	53.6
09	66.2	74.5	59.7	63.3	70.9	55.8
10	67.9	75.4	62.1	64.2	72.3	56.6
11	64.7	72.0	59.1	64.7	71.8	58.0

表９　奨学金希望者の申請状況　「申請した」の推移（税込年収別）

年度	500万円未満	500～600万	600～700万	700～800万	800～900万	900～1,000万	1,000～1,100万	1,100～1,300万	1,300～1,500万	1,500～1,700万	1,700～1,900万	1,900万以上
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
09	76.9	73.8	72.6	69.0	65.8	62.0	50.4	50.9	34.3	21.9	36.1	24.1
10	82.1	72.7	73.0	70.9	66.4	61.3	50.3	49.3	39.2	31.2	19.4	18.5
11	81.4	75.2	72.3	70.1	69.0	65.1	45.5	46.1	44.3	25.7	22.7	21.4

図８　「授業料への直接助成制度」の必要性（全体／住居別、費用の調達別）

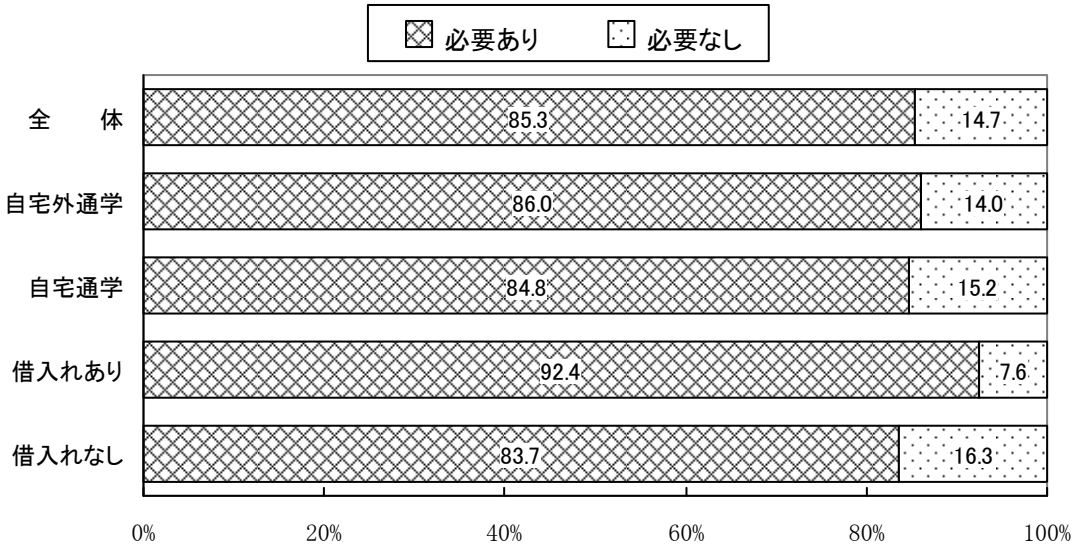


表10　授業料への直接助成制度「必要あり」の推移（全体／住居別、費用の調達別、学部学科別）

年度	全体平均	自宅外通学	自宅通学	借入れあり	借入れなし	文科系	理科系	医科歯科系	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
05	86.0	85.2	86.4	93.6	83.6	85.7	85.5	88.9	87.9
06	86.9	86.5	87.2	91.1	84.8	86.6	87.2	76.8	91.1
07	87.2	87.0	87.5	93.6	83.6	86.9	97.2	―	89.1
08	87.7	88.7	86.8	95.2	85.7	87.0	87.9	84.4	91.6
09	89.9	89.6	90.3	94.4	88.7	89.1	91.4	87.7	91.2
10	85.2	85.6	84.8	92.5	83.3	84.4	96.0	85.5	88.4
11	85.3	86.0	84.8	92.4	83.7	84.1	86.6	73.0	90.3

5 ２割の家庭が入学費用を「借入れ」(平均借入額164万円)
９割を超える家庭が入学費用を「重い」と感じている

1．入学費用を「借入れ」した家庭は18.5%である。「借入れあり」を住居別でみると、「自宅外通学者」が「自宅通学者」に比べ高い傾向にある（表11)。

2．「借入額」の全体平均は164万2000円で、前年と比べ６万3000円増額した。「自宅外通学者」の「借入額」は189万6000円で、「自宅通学者」と比べ51万8000円多い（表11)。

3．受験から入学までの費用の「負担感」は、９割を超える家庭で『重い』(「たいへん重い」と「重い」の合計）と感じており、新入生を入学させた家庭の負担の大きさを示している（表12)。

入学費用を「借入れ」した家庭では、99.1%が『重い』と感じている。住居別の「自宅外通学者」では、92.1%の家庭が『重い』と感じている（表13)。

表11　「借入れあり」と「借入額」の推移（全体／住居別）

年度	全体平均		自宅外通学		自宅通学	
	借入れあり	借入額	借入れあり	借入額	借入れあり	借入額
	%	万円	%	万円	%	万円
2000	24.0	160.1	27.2	180.6	20.5	130.3
01	23.5	158.5	26.3	180.1	20.7	129.6
02	22.5	160.9	25.4	182.2	19.8	133.9
03	21.9	161.5	25.8	188.8	18.4	128.8
04	22.1	159.8	25.2	182.5	19.3	134.0
05	21.9	166.4	25.5	193.1	18.7	134.5
06	27.7	174.3	30.8	207.0	25.2	138.9
07	19.4	164.8	23.3	185.1	15.6	134.7
08	19.9	164.2	23.5	184.0	16.7	140.5
09	20.7	157.7	23.9	175.3	18.1	140.8
10	20.2	157.9	24.3	178.5	17.0	134.6
11	18.5	164.2	21.7	189.6	16.1	137.8

表12　「受験から入学までの費用」の「負担感」の推移（全体平均）

負　担　感	05	06	07	08	09	10	11
①たいへん重い	40.1 %	38.8 %	40.9 %	40.5 %	44.0 %	46.4 %	42.6 %
②重　　い	50.1	50.9	49.8	50.8	48.5	45.8	48.8
③それほど重くない	8.9	9.2	8.2	7.5	6.5	6.7	7.3
④重　く　な　い	0.9	1.1	1.1	1.2	1.0	1.1	1.3
重　　い（①＋②）	90.2	89.7	90.7	91.3	92.5	92.2	91.4
重くない（③＋④）	9.8	10.3	9.3	8.7	7.5	7.8	8.6
合　　計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表13　「受験から入学までの費用」の「負担感」（資金の調達別、住居別）

負　担　感	借入れあり	借入れなし	自　　宅	自　宅　外
①たいへん重い	71.6 %	36.0 %	40.6 %	45.2 %
②重　　い	27.5	53.6	50.0	47.1
③それほど重くない	0.9	8.8	8.0	6.4
④重　く　な　い	0.0	1.6	1.4	1.3
重　　い（①＋②）	99.1	89.6	90.6	92.3
重くない（③＋④）	0.9	10.4	9.4	7.1
合　　計	100.0	100.0	100.0	100.0

私立大学新入生の家計負担調査
２０１１年度

■発行日　2012年4月

■発　行　東京地区私立大学教職員組合連合

〒169-0075　東京都新宿区高田馬場2-5-23 第1桂城ビル3F
TEL03（3208）8071　FAX03（3208）0430